

明 細 書

発明の名称：

差込み便器のおむつ取り付け方法及びおむつ付き差し込み便器

技術分野

[0001] 本発明は、身動きの不自由な要介護者が排泄物処理装置により排尿・排便を自動で処理するときに股間に装着する差込み便器のおむつ取り付け方法及びおむつ付き差し込み便器に関するものである。

背景技術

[0002] 身動きの不自由な要介護者は排泄物処理装置にて排尿・排便を自動で処理するときに股間に差込み便器を装着するが、従来、図5に示すような差し込み便器10に、図7に示すような専用おむつ11を上からセットし、図6に示すように要介護者12の股間に装着して使用するものが知られている（特許文献1）。

前記差し込み便器10とおむつ11の構造、差し込み便器10におむつ11をセットする方法をさらに詳しく説明する。

図5において、差込み便器10は、大まかに分けて便座本体部13と、後カバー部14と、尻受け部15とからなる。

前記便座本体部13は、皿状の窪みを有する排便受け部16と、縦型溝状の排尿受け部17とからなる。

[0003] 前記排便受け部16は、後端に連通して排便吸引孔18となる筒部が一体に突出しており、この排便受け部16の前端部には、洗浄水ノズル21が設けられている。また、前記排便受け部16には、1個の大便センサー19と4個の小便センサー20が設けられている。

[0004] 前記排尿受け部17の略中間位置には、洗浄水ノズル21が設けられている。

前記後カバー部14には、図6に示すように、下から順に、排泄物吸引ホース22、空気供給管23、送水管24、電気コード25が設けられている。

。

[0005] 図7において、差込み便器用のおむつ11は、薄くて強度のある紙製で、手前側が腰回り包み部26、後方側が腹回り包み部27で、中間部が股間回り包み部28となっており、表側に肉厚のクッション材が貼着されている。前記腰回り包み部26の両側縁には、腹回り包み部27の面ファスナー29に付着する2個ずつの固着片30が突出して設けられている。

前記股間回り包み部28の中央に内側防水紙33が貼着され、この内側防水紙33に形成された排泄孔32の周りに切り込み線34付きの貼着代35が排便受け部16と排尿受け部17にそれぞれ形成され、さらに、前記排泄孔32の端部に2個の隙間保持テープ36、36が設けられている。また、前記腰回り包み部26の裏側（図7に示した側）に、前記尻受け部15を差し込む便座受けシート37が形成されている。

[0006] 以上のように構成された差し込み便器10に、おむつ11をセットするには、差込み便器用おむつ11の便座受けシート37の内側に差込み便器9の尻受け部15を差し込む。すると、おむつ11の排泄孔32が排便受け部16と一致し、また、下側の洗浄水ノズル21が排泄孔32から露出する。この状態で、排泄孔32の円形孔周縁の貼着代35の剥離紙をはがして排便受け部16の内側壁部16aに貼り付け、また、排泄孔32の直線部の貼着代35の剥離紙をはがして排便受け部16の内壁部16aと排尿受け部17の内壁部に貼り付ける。

[0007] おむつ11をセットした差し込み便器10を要介護者12の股間にあてがう。すると、肛門が排便受け部16の大便センサー19のほぼ真上に位置する。

密着したら、腹回り包み部27を要介護者12の腹の上まで折り返し、腰回り包み部26を被せて固着片30で腹回り包み部27の面ファスナー29に係止する。

[0008] 差し込み便器10の排便受け部16と排尿受け部17と要介護者12の泌尿器との間に適正な空間を形成して、糞尿が排泄孔32の周りのおむつ11に

付着しないようにするため、隙間保持テープ３６を引き込んで、おむつ１１の外面を差込み便器１０に密着させつつ、更に、この隙間保持テープ３６が剥がれないように、他の隙間保持テープ３６を交差して接着する。

[0009] 以上のようにしたおむつ１１と差込み便器１０をセットして装着し、排便、排尿を大便センサー１９や小便センサー２０で感知すると、図示しない排泄物処理装置が駆動して差込み便器１０内の排便と排尿を排便吸引孔１８から吸引処理し、排便箇所と排尿箇所と排便受け部１６と排尿受け部１７とを温水で洗浄し、温風で乾燥する。

先行技術文献

特許文献

[0010] 特許文献１：特開２０１６－９７２６７号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0011] 従来のおむつ１１を差込み便器１０にセットするためには、以下のような問題点を有していた。

（１）おむつ１１に形成される内側防水紙３３の加工が複雑であった。具体的には、この内側防水紙３３は、排泄孔３２の切り抜きや切り込み線３４の加工、剥離紙を有する貼着代３５、隙間保持テープ３６を内側防水紙３３とは異なる材料を張り合わせる工程などを必要とし、おむつ１１の加工が面倒であるという問題があった。

（２）おむつ１１と差し込み便器１０のセット時に、おむつ１１にわざわざ便座受けシート３７を設けて差し込み用便器１０の尻受け部１５を差し込んで排泄孔３２と排便受け部１６との位置合わせをする必要があった。

（３）おむつ１１を差し込み便器１０に取り付けるため、複数個所の貼着代３５を排便受け部１６や排尿受け部１７の内側壁面に貼り付ける作業は熟練を要し、未熟者の貼り付けでは、尿、水、臭い漏れの原因となっていた。

（４）複数個所の貼着代３５の貼り付けで要介護者１２に装着した後でもさ

らに差し込み便器 10 の排便受け部 16 と排尿受け部 17 と泌尿器との間に適正な空間を形成するための隙間保持テープ 36 を必要としていた。

- [0012] 本発明は、簡便なおむつを用いて、特別な訓練を受けなくても差し込み便器に正しくセットできるようにした差し込み便器のおむつ取り付け方法及びおむつ付き差し込み便器を提供することを目的とするものである。

課題を解決するための手段

- [0013] 本発明のおむつ付き差し込み便器は、
排便受け部 16 と排尿受け部 17 と排便吸引孔 18 を有し、差し込み便器として機能するインナー 40 と、
このインナー 40 の背部に宛がって股間に装着するためのおむつ 42 と、
前記インナー 40 の排便受け部 16 と排尿受け部 17 が露出するように前記おむつ 42 の背後から宛がって前記インナー 40 とで前記おむつ 42 を挟持するアウター 41 とからなることを特徴とする。
- [0014] インナー 40 には、少なくとも大便センサー 19 と小便センサー 20 と洗浄ノズル 21 を有する。
アウター 41 に、インナー 40 の外周面と前記アウター 41 の内周囲の間隙 57 におむつ 42 を密着して挟持するインナー嵌合凹部 46 を形成する。
おむつ 42 は、インナー 40 とアウター 41 の間の隙間 57 に嵌合する部分を内側防水紙 33 とし、この内側防水紙 33 の外周部をクッション材 51 とする。
- [0015] インナー嵌合凹部 46 の外周縁の排便部嵌合壁 46a と排尿部嵌合壁 46b に、インナー 40 を嵌合したとき排便受け部 16 と排尿受け部 17 より外方に突出する軟質材 45 を形成する。
アウター 41 の前端部に尻受け部 15 を取り付け。
- [0016] 本発明の第 1 の差し込み便器のおむつ取り付け方法は、
最初に、前面に排便受け部 16 と排尿受け部 17 と排便吸引孔 18 を有し、差し込み便器として機能するインナー 40 に、股間に装着するためのおむ

つ４２を前記インナー４０の背部に宛がう工程と、

次いで、前記インナー４０の前面が露出するように前記おむつ４２の背後からアウター４１を宛がって前記インナー４０とで前記おむつ４２の内側防水紙３３部分を挟持する工程とからなることを特徴とする。

[0017] 本発明の第２の差し込み便器のおむつ取り付け方法は、

最初に、アウター４１の前面に、股間に装着するためのおむつ４２を宛がう工程と、

次いで、前面に排便受け部１６と排尿受け部１７と排便吸引孔１８を有し、差し込み便器として機能するインナー４０を前記おむつ４２の上から嵌め込み、前記アウター４１とインナー４０とで前記おむつ４２の内側防水紙３３部分を挟持する工程とからなることを特徴とする。

発明の効果

[0018] 請求項１記載の発明によれば、

排便受け部と排尿受け部と排便吸引孔を有し、差し込み便器として機能するインナーと、

このインナーの背部に宛がって股間に装着するためのおむつと、

前記インナーの排便受け部と排尿受け部が露出するように前記おむつの背後に宛がって前記インナーとで前記おむつを挟持するアウターとからなるので次の効果を有する。

おむつに形成される内側防水紙の加工が突起物逃げ孔の加工だけであり、排泄孔の切り抜きや切り込み線の加工、剥離紙を有する貼着代、隙間保持テープを内側防水紙とは異なる材料を張り合わせる工程などを必要とせず、おむつの加工が極めて簡単になる。

おむつと差し込み便器のセット時に、おむつの排泄孔と差し込み便器の排便受け部との位置合わせをする必要がない。

おむつを差し込み便器に取り付ける作業は熟練を要せず、未熟者の貼り付けでも、尿、水、臭い漏れがない。

[0019] 請求項２記載の発明によれば、

インナーは、大便センサーと小便センサーと洗浄ノズルを有するものからなるので、インナー内的大便センサー及び／又は小便センサーは洗浄ノズルで洗浄することができる。

[0020] 請求項 3 記載の発明によれば、

アウターに、インナーの外周面と前記アウターの内周囲の間の隙間におむつを密着して挟持するインナー嵌合凹部を形成したので、アウターに、インナーとおむつを密着してセットする作業が極めて容易である。

[0021] 請求項 4 記載の発明によれば、

おむつは、インナーとアウターの間の隙間に嵌合する部分を内側防水紙とし、この内側防水紙の外周部をクッション材としたので、要介護者に本発明のおむつ付き差込便器を簡単に、かつ、容易に装着することができる。

[0022] 請求項 5 記載の発明によれば、

インナー嵌合凹部の外周縁の排便部嵌合壁と排尿部嵌合壁に、前記インナーを嵌合したとき排便受け部と排尿受け部より外方に突出する軟質材を形成したので、差込み便器の排便受け部と排尿受け部と泌尿器との間に適正な空間を形成することができる。

[0023] 請求項 6 記載の発明によれば、

アウターの前端部に尻受け部を取り付けたので、要介護者の尻をおむつのクッション材で受けることができる。

[0024] 請求項 7 記載の発明によれば、

前面に排便受け部と排尿受け部と排便吸引孔を有し、差し込み便器として機能するインナーに、股間に装着するためのおむつを前記インナーの背部に宛がう工程と、

前記インナーの前面が露出するように前記おむつ 42 の背後からアウターを宛がい前記インナーとで前記おむつの内側防水紙部分を挟持する工程とからなるので、おむつをインナーの背後に宛がい、おむつの背後からアウターを宛がうだけでセットすることができる。

[0025] 請求項 8 記載の発明によれば、

前面に排便受け部と排尿受け部と排便吸引孔と洗浄ノズルを有し、背面に前記排便吸引孔に連結した排泄物吸引ホースと空気供給管と前記洗浄ノズルに連結した送水管を有し、差し込み便器として機能するインナーに、股間に装着するためのおむつを前記インナーの背部の排泄物吸引ホースと空気供給管と送水管を前記内側防水紙の突起物逃げ孔から突出させて宛がう工程と、

アウターの突起物逃げ孔から前記排泄物吸引ホースと空気供給管と送水管を突出させ、前記インナーの前面が露出するように前記おむつの背後からアウターのインナー嵌合凹部を宛がい前記インナーとで前記おむつの内側防水紙部分を挟持する工程とからなるので、便吸引孔に連結した排泄物吸引ホースと空気供給管と前記洗浄ノズルに連結した送水管をアウターから容易突出させることができる。

[0026] 請求項 9 記載の発明によれば、

おむつの背後からアウターを宛がい前記インナーとで前記おむつの内側防水紙部分を挟持する工程は、インナーの背部におむつを宛がった状態でインナーの前端の内側防水紙をアウターに設けたインナー嵌合凹部の下部係止凹部に係止し、この係止部分を支点として前記インナーとおむつをインナー嵌合凹部に嵌合するようにしたので、正しい位置に容易に嵌合することができる。

[0027] 請求項 10 記載の発明によれば、

アウターの前面に、股間に装着するためのおむつを宛がう工程と、
前面に排便受け部と排尿受け部と排便吸引孔を有し、差し込み便器として機能するインナーを前記おむつの上から嵌め込み、前記アウターとインナーとで前記おむつの内側防水紙部分を挟持する工程とからなるので、インナーとおむつとアウターとのセットが簡単になる。

[0028] 請求項 11 記載の発明によれば、

アウターの突起物逃げ孔と突起物逃げ孔を有するインナー嵌合凹部に、おむつの内側防水紙部分に突起物逃げ孔有するおむつの内側防水紙部分を宛がう工程と、

前面に排便受け部と排尿受け部と排便吸引孔と洗浄ノズルを有し、背面に前記排便吸引孔に連結した排泄物吸引ホースと空気供給管と前記洗浄ノズルに連結した送水管を有し、差し込み便器として機能するインナーを、前記おむつの前記内側防水紙の突起物逃げ孔を貫通し、かつ、アウターの突起物逃げ孔と突起物逃げ孔から前記排泄物吸引ホースと空気供給管と送水管を突出させて前記インナーを前記インナー嵌合凹部に圧入する工程とからなるので、便吸引孔に連結した排泄物吸引ホースと空気供給管と前記洗浄ノズルに連結した送水管をアウターから容易突出させることができる。

図面の簡単な説明

[0029] [図1]本発明によるおむつ付き差し込み便器に用いられるインナーとアウターの一実施例を示す斜視図である。

[図2]本発明によるおむつ付き差し込み便器に用いられるおむつの一実施例を示す斜視図である。

[図3]本発明によるおむつ付き差し込み便器を要介護者に装着した例を示す断面図である。

[図4]本発明によるおむつ付き差し込み便器を要介護者に装着した一実施例を示すもので、(a)は、図3のA-A線断面図、(b)は、図3のB-B線断面図、(c)は、図3のC-C線断面図である。

[図5]従来の差し込み用便器の斜視図である。

[図6]従来のおむつ付き差し込み便器を要介護者に装着した例を示す断面図である。

[図7]従来の専用おむつの斜視図である。

発明を実施するための形態

[0030] 本発明によるおむつ付き差し込み便器は、
排便受け部16と排尿受け部17と排便吸引孔18を有し、差し込み便器として機能するインナー40と、
このインナー40の背部に宛がって股間に装着するためのおむつ42と、
前記インナー40の排便受け部16と排尿受け部17が露出するように前

記おむつ４２の背後から宛がって前記インナー４０とで前記おむつ４２を挟持するアウター４１とからなる。

[0031] インナー４０には、大便センサー１９と小便センサー２０と洗浄ノズル２１を有するものからなる。

アウター４１には、インナー４０の外周面と前記アウター４１の内周囲の間の隙間５７におむつ４２を密着して挟持するインナー嵌合凹部４６を形成する。

おむつ４２は、インナー４０とアウター４１の間の隙間５７に嵌合する部分を内側防水紙３３とし、この内側防水紙３３の外周部をクッション材５１とする。

インナー嵌合凹部４６の外周縁の排便部嵌合壁４６ａと排尿部嵌合壁４６ｂに、インナー４０を嵌合したとき排便受け部１６と排尿受け部１７より突出する軟質材４５を形成する。

アウター４１の前端部に尻受け部１５を取り付ける。

[0032] 本発明の差し込み便器のおむつ取り付け方法は、

前面に排便受け部１６と排尿受け部１７と排便吸引孔１８を有し、差し込み便器として機能するインナー４０に、股間に装着するためのおむつ４２を前記インナー４０の背部に宛がう工程と、

前記インナー４０の前面が露出するように前記おむつ４２の背後からアウター４１を宛がって前記インナー４０とで前記おむつ４２の内側防水紙３３部分を挟持する工程とからなる。

[0033] より具体的には、

前面に排便受け部１６と排尿受け部１７と排便吸引孔１８と洗浄ノズル２１を有し、背面に前記排便吸引孔１８に連結した排泄物吸引ホース２２と空気供給管２３と前記洗浄ノズル２１に連結した送水管２４を有し、差し込み便器として機能するインナー４０に、股間に装着するためのおむつ４２を前記インナー４０の背部の排泄物吸引ホース２２と空気供給管２３と送水管２４を前記内側防水紙３３の突起物逃げ孔５６から突出させて宛がう工程と、

アウター４１の突起物逃げ孔４９と突起物逃げ孔５０から前記排泄物吸引ホース２２と空気供給管２３と送水管２４を突出させ、前記インナー４０の前面が露出するように前記おむつ４２の背後からアウター４１のインナー嵌合凹部４６を宛がって前記インナー４０とで前記おむつ４２の内側防水紙３３部分を挟持する工程とからなる。

[0034] セットをより簡単にするために、

おむつ４２の背後からアウター４１を宛がって前記インナー４０とで前記おむつ４２の内側防水紙３３部分を挟持する工程は、インナー４０の背部におむつ４２を宛がった状態でインナー４０の前端の内側防水紙３１をアウター４１に設けたインナー嵌合凹部４６の下部係止凹部４７に係止し、この係止部分を支点として前記インナー４０とおむつ４２をインナー嵌合凹部４６に嵌合する。

[0035] セットの順序は、先の例に限らず、

アウター４１の前面に、股間に装着するためのおむつ４２を宛がう工程と

、

前面に排便受け部１６と排尿受け部１７と排便吸引孔１８を有し、差し込み便器として機能するインナー４０を前記おむつ４２の上から嵌め込み、前記アウター４１とインナー４０とで前記おむつ４２の内側防水紙３３部分を挟持する工程とすることもできる。

[0036] より具体的には、

アウター４１の突起物逃げ孔４９と突起物逃げ孔５０を有するインナー嵌合凹部４６に、おむつ４２の内側防水紙３３部分に突起物逃げ孔５６有するおむつ４２の内側防水紙３３部分を宛がう工程と、

前面に排便受け部１６と排尿受け部１７と排便吸引孔１８と洗浄ノズル２１を有し、背面に前記排便吸引孔１８に連結した排泄物吸引ホース２２と空気供給管２３と前記洗浄ノズル２１に連結した送水管２４を有し、差し込み便器として機能するインナー４０を、前記おむつ４２の前記内側防水紙３３の突起物逃げ孔５６を貫通し、かつ、アウター４１の突起物逃げ孔４９と突

起物逃げ孔 50 から前記排泄物吸引ホース 22 と空気供給管 23 と送水管 24 を突出させて前記インナー 40 を前記インナー嵌合凹部 46 に圧入する工程とからなる。

実施例 1

[0037] 図 1 において、40 は、本発明のインナーであり、41 は、本発明のアウトターである。

前記インナー 40 は、図 5 に示した従来の差し込み用便器 10 から尻受け部 15 を除いたものとはほぼ同じ形状と機能を有する。したがって、同一機能を有する部分には、同一符号をつけて説明する。

前記インナー 40 は、本体部 40a と外カバー部 40b とからなり、本体部 40a は、従来の便座本体部 13 に相当し、外カバー部 40b は、従来の後カバー部 14 に相当する。前記本体部 40a は、皿状の窪みを有する排便受け部 16 と、両側に壁部壁部 17a を立ち上げた縦型溝状の排尿受け部 17 とからなる。前記排便受け部 16 は、後端に連通して排便吸引孔 18 となる筒部が一体に突出しており、この排便受け部 16 の前端部には、洗浄水ノズル 21 が設けられている。また、前記排便受け部 16 には、1 個の大便秘センサー 19 と 4 個の小便センサー 20 が設けられている。前記排尿受け部 17 の略中間位置には、洗浄水ノズル 21 が設けられている。前記インナー本体部 40a と外カバー部 40b の先端部には、下部係止突起部 43 が設けられている。

前記本体部 40a の背後に前記外カバー部 40b が嵌め込まれ、この外カバー部 40b には、下から順に、排泄物吸引ホース 22、空気供給管 23、送水管 24、電気コード 25 が設けられている。また、前記本体部 40a と外カバー部 40b との隙間には、空気供給管、送水管、電気コードが配置されている。

[0038] 前記アウトター 41 は、前記インナー 40 との間で後述するおむつ 42 を挟着するため、わずかな隙間 57 (1~2mm 程度) をもって嵌合するインナー嵌合凹部 46 を有する。このインナー嵌合凹部 46 は、排便部嵌合壁 46

aと排尿部嵌合壁46bと背面壁46cで形成されている。前記排便部嵌合壁46aには排便受け部16が遊嵌し、前記排尿部嵌合壁46bには排尿受け部17が遊嵌する。前記排便部嵌合壁46aと排尿部嵌合壁排尿部嵌合壁46bの周縁部には、従来と同様の軟質材45が外方に突出して設けられている。前記背面壁46cには、前記排泄物吸引ホース22と空気供給管23が突出する突起物逃げ孔49と、前記送水管24と電気コード25が突出する突起物逃げ孔50と、前記インナー40とアウター41を結合するロックピン54の上部係止孔48が形成されている。また、前記インナー嵌合凹部46の内側端には、前記下部係止突起部43と係合する下部係止凹部47が設けられている。

前記アウター41の前端部には、便座本体部13が一体に設けられ、この便座本体部13の上に軟質材55が被せられる。

[0039] 図2において、おむつ42の基本構成は、従来の専用おむつ11と略同様で、薄くて強度のある紙製のおむつ本体を用いる。このおむつ本体は、横幅が55～60cm、縦幅が80～85cmで、縦方向に略3等分して手前側が腰回り包み部26、後方側が腹回り包み部27で、中間部が股間回り包み部28となっており、この股間回り包み部28の横幅は、35～40cmにくびれている。前記腰回り包み部26の端部付近は、伸ばしたとき約20cmのゴム等の弾性材入りの腰部ギャザーとなっており、同様に、股間回り包み部28の両側付近は、伸ばしたとき約20cmがゴム等の弾性材入りの股間部ギャザーとなっており、伸ばさない状態では、約12cmに縮んでいる。このおむつ本体の内側には、内側防水紙33を除いて肉厚のクッション材51が腰回り包み部26と股間回り包み部28と腹回り包み部27にかけて貼着され、このクッション材51における内側防水紙33の両側にそれぞれ内側ギャザー部52と外側ギャザー部53が設けられている。前記腹回り包み部26の両側縁には、2個ずつの面ファスナー29付きの固着片30が突出して設けられている。

従来の専用おむつ11と異なる部分は、中央の内側防水紙33が前記イン

ナー４０を背後から包み込む程度の大きさをなし、この内側防水紙３３の中央に前記排泄物吸引ホース２２と空気供給管２３と送水管２４と電気コード２５を逃がすとともにロックピン５４を差し込むための突起物逃げ孔５６を有するだけで、前記従来の専用おむつ１１の排泄孔３２と切り込み線３４と貼着代３５と隙間保持テープ３６を有せず、また、裏面の便座受けシート３７を有しないものである。

[0040] おむつ４２をインナー４０とアウター４１にてセットする工程を説明する。

インナー４０の背部からおむつ４２を腹回り包み部２７が上になるようにし、おむつ４２の内側防水紙３３が排便受け部１６と排尿受け部１７に密着するように宛がう。この時、インナー４０の排泄物吸引ホース２２と空気供給管２３と送水管２４と電気コード２５を突起物逃げ孔５６から突出させる。突起物逃げ孔５６の孔位置はそれほど正確でなくてもよい。

インナー４０に背部からおむつ４２を宛がった状態で、インナー４０の前端部の下部係止突起部４３をおむつ４２の内側防水紙３３とともにアウター４１の下部係止凹部４７にやや傾けながら差し込み、この下部係止突起部４３と下部係止凹部４７の係合部分を支点にしてインナー４０と内側防水紙３３を排尿部嵌合壁排尿部嵌合壁４６ｂ側に押し込む。すると、アウター４１の下方部がアウター４１の排便部嵌合壁４６ａで、またアウター４１の上方部がアウター４１の排尿部嵌合壁排尿部嵌合壁４６ｂで包み込むようにしてインナー嵌合凹部４６内に密着して収納される。インナー４０がおむつ４２とともにアウター４１に密着嵌合した後、図４（ａ）に示すように、アウター４１の上部係止孔４８、おむつ４２の突起物逃げ孔５６、外カバー部４０ｂの上部係止孔４４を貫通してロックピン５４を差し込み、９０度回転して全体を固定する。

これで差し込み用便器へのおむつ４２のセットが完了する。

[0041] 次に、差し込み便器としてのインナー４０とアウター４１におむつ４２をセットして要介護者１２の股間に宛がう。このとき、図４（ａ）（ｂ）（ｃ）

に示すように、臀部がおむつ４２のクッション材５１に接する。おむつ４２のクッション材５１がアウター４１から位置ずれするようなことがあっても、アウター４１の軟質材４５に接するので臀部に痛みなどはない。

[0042] 股間に密着したら、腹回り包み部２８を腹の上まで折り返す。腹の上から腰回り包み部２６を巻き込み、この腰回り包み部２６の両側から腰部ギャザーを伸ばしながら腰回り包み部２６を被せて固着片３０の面ファスナー２９を腹回り包み部２７の面ファスナーに係止する。

[0043] 以上のようにしたおむつ４２と差込み便器としてのインナー４０をセットして装着し、排便、排尿を大便センサー１９や小便センサー２０で感知すると、図示しない排泄物処理装置が駆動してインナー４０内の排便と排尿を排便吸引孔１８から吸引処理し、温水で洗浄し、温風で乾燥する。

[0044] 前記実施例における差込み便器へのおむつの取り付け方法は、最初に差し込み便器として機能するインナー４０に、股間に装着するためのおむつ４２を前記インナー４０の背部に宛がい、

次いで前記インナー４０の前面が露出するように前記おむつ４２の背後からアウター４１を宛がって前記インナー４０とで前記おむつ４２の内側防水紙３３部分を挟持するようにした。

[0045] しかし、これに限られるものではなく、最初にアウター４１の前面に、股間に装着するためのおむつ４２を宛がい、

次いでインナー４０を前記おむつ４２の上から嵌め込み、前記アウター４１とインナー４０とで前記おむつ４２の内側防水紙３３部分を挟持するようにしてもよい。

[0046] インナー４０とおむつ４２とアウター４１がセットされたものは、図３に示すように要介護者１２に装着される。装着方法は、従来とほぼ同様であり、おむつ４２をセットした差込み便器を要介護者１２の股間に宛がう。すると、肛門が排便受け部１６の大便センサー１９のほぼ真上に位置する。

密着したら、腹回り包み部２７を要介護者１２の腹の上まで折り返し、腰回り包み部２６を被せて固着片３０で腹回り包み部２７の面ファスナー２９

に係止する。

[0047] 図4（b）に示すように、股間は、軟質材45とクッション材51によって洗浄水ノズル21と適正な隙間が形成される。

図4（c）に示すように、肛門は、軟質材45とクッション材51によって大便センサー19と適正な隙間が形成される。

[0048] 10…差し込み用便器、11…専用おむつ、12…要介護者、13…便座本体部、14…後カバー部、15…尻受け部、16…排便受け部、17…排尿受け部、18…排便吸引孔、19…大便センサー、20…小便センサー、21…洗浄ノズル、22…排泄物吸引ホース、23…空気供給管、24…送水管、25…電気コード、26…腰回り包み部、27…腹回り包み部、28…股間回り包み部、29…面ファスナー、30…固着片、32…排泄孔、33…内側防水紙、34…切り込み線、35…貼着代、36…隙間保持テープ、37…便座受けシート、38…軟質材、40…インナー、41…アウター、42…おむつ、43…下部係止突起部、44…上部係止孔、45…軟質材、46…インナー嵌合凹部、47…下部係止凹部、48…上部係止孔、49…突起物逃げ孔、50…突起物逃げ孔、51…クッション材、52…内側ギャザー部、53…外側ギャザー部、54…ロックピン、55…軟質材、56…突起物逃げ孔、57…隙間。